

シフト作成の労力を大幅削減する「予測シフト」 シフト作成時間を33%削減し、年間3万6300時間の業務削減を実現！

店舗の管理者が日々頭を悩ませている業務といえば、従業員のシフト組みだ。個人の要望に応じつつ、最適な人員配置を調整するのは手間も時間もかかる。こうした課題の解決に向けて、勤怠管理システムの開発、販売を手掛けるガルフネットは、新たに自動シフト作成システム「予測シフト」の提案を開始した。製品の強みと導入効果について、同社の岩淵和育開発部アカウントマネージャーに聞いた。

複雑な条件を考慮するシフト組みは店長・部門長の負担大

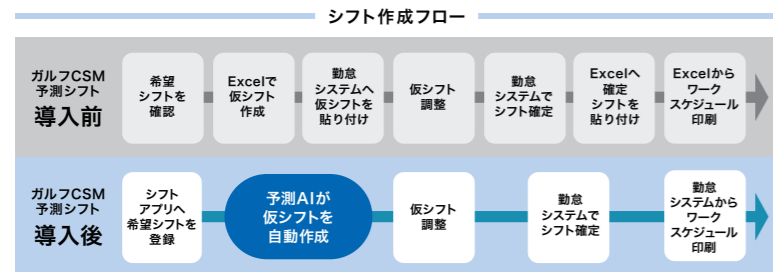
「予測シフト」の開発・提案にきっかけについて教えてください。

我々は「ガルフCSM勤怠管理」という勤怠システムを主力に展開し、既に飲食業・小売り・食品スーパーなど300社、延べ3万店に導入いただいています。同システムは、企業の生産性向上を目的に、基本的な打刻機能のほか、シフト作成、勤務実績の集計、予算と付け合わせた生産性管理など、多彩な機能を集約しています。ただ、シフト作成業務については依然現場の負担が大きく、お悩みの声を多くいただいております。そこで、シフト組みを自動で行う「予測シフト」を新たに開発し、浮いた労力を他の作業に充てることでさらなる業務の効率化をお客様へ提案しております。

——実際に現場で上がっている悩みとはどんなものでしょうか。

「予測シフト」の強みは、企業・部門の要望に応じて、多様なシフト条件に対応できることだと思っています。例えば、年少者や在留資格者がいる職場の場合、労基法の禁止事項をルールに組み込むことで、法令違反を未然に防ぐことができます。また、連続勤務や残業の基準を厳しく設定すれば働き

図表② 大手小売業A社の導入事例（従業員数15,000人）



■年間のコスト削減額
・導入前110,000人時/年間→導入後73,700人時/年間（▲36,300人時、▲33%削減）
時給2,000円換算で年間7,260万のコスト削減効果
大幅なコスト削減がかない、管理者が本業に集中することができた

図表③ ガルフCSM勤怠管理の仕組み



採用から退職までに必要な勤怠・労務機能を一括で提供。月間の出勤計画から出勤実態が紐づくことで、PDCAサイクルを円滑に回すことができる

——事例を教えてください。

大手小売業A社では、エクセルで仮シフトを作成し、勤怠管理システムにエクセルを張り付けて調整、システム

シフト作成にかかった人件費を33%削減

過去の防止にもつながります。新人スタッフと教育係を必ずセットでシフトを組む、といった細かな調整も可能です。複雑なシフト作成の効率化・最適化するサポートで、お客様の店舗運営の改善を力強く後押しします。

「予測シフト」にはシフト最適化エンジンが搭載されています。このエンジンがシフトパターンと最適化ルールに基づき、様々な条件を考慮した最適な人員配置を自動で作成します。その結果、店舗運営の改善につながると同時に、働き過ぎや労基法違反といった

シフト作成の労力を大幅削減 ルール違反の勤怠も防ぐ

シフトを組む際に加味すべき要素は、従業員の都合、契約条件、資格・スキルなど多岐にわたり、非常に複雑です。現状、店長や部門長がこれらを調整するのに膨大な手間と時間がかかっています。また、シフト組みに慣れてくると、一部の従業員に勤務が集中してしまったり、逆に働きたいのに働けない従業員が出てきたりします。最適なバランスでシフトを組み立てるのは非常に大変といえます。

ルール違反のシフト組みも排除し、法的な問題や従業員の不満も解消します。——具体的なシフト組みの流れについて教えてください。

シフトの組み立ては予算の設定から始まります。「予測シフト」では、入力支援機能によって、過去の売上実績から日別の予算立案を自動で行うことができます。次に、これを基にした必要人員、仕事の割り振りのパターンを登録しておきます。あとはボタン一つでシフト最適化エンジンが最適な人員配置を分析し、提案してくれます。スキルなどの割当条件、従業員の契約条件、個々の従業員から従業員アプリを通じて収集したシフト希望などを参考に割り当てます。もし、個別にシフトを修正したければ、後から手動で調整することもできます（図表①）。

——非常に簡単ですね。シフト希望の収集、シフトの通知など、従業員とのコミュニケーションはどのように行っていますか。

従業員アプリを介して行います。従業員ご自身のスマート

図表① 予測シフト



「ガルフCSM勤怠管理予測シフト」は、各条件の入力により最適な人員配置を自動作成。管理者のシフト作成の手間を大幅に削減する

フォンから直接勤務や休暇の申請ができ、確定したシフトもこちらで確認できます。アプリにはメッセージ機能も搭載してお

——ガルフCSM勤怠管理の具体的な機能は。

例えば、出勤時の打刻はカメラ付きタブレットやパソコン利用による顔認証で、なりすまし防止に対応しています。さらに、非接触検温付きAI顔認証端末を使えば、顔認証と同時に検温を行うため、ウィズコロナ時代の安全・安心な職場づくりをサポートします。

労務リスクを回避するための「労務アラート」機能も搭載。部門別に総労働時間、休暇チェック、時間外勤務などのアラート内容を設定しておけば、禁忌に該当した際はアラートが表示されるようになります。

大手企業の労務課題をベースにシステムを構築しているため、労務管理のノウハウがない中小企業でも、上場企業レベルの勤怠管理ができるのもポイントでしょう。

システム導入費はかかりますが、これまで人事や労務管理、シフト作成業務にかかるコストを必ず削減できるため、導入費は半年でペイできると言っています。

当社は長年、様々な業種やそれぞれ異なる成長ステージにある企業とともに、経営課題を解決するシステムを開発してきました。そのため、企業が抱える人に関する課題解決機能は網羅できていると思います。

株式会社ガルフネット 東京営業執行部
[お問い合わせ窓口]
販売責任者： 榊村 潔
〒136-0071 東京都江東区亀戸 1-4-2
Tel:03-6279-4690 Fax:03-5858-1149